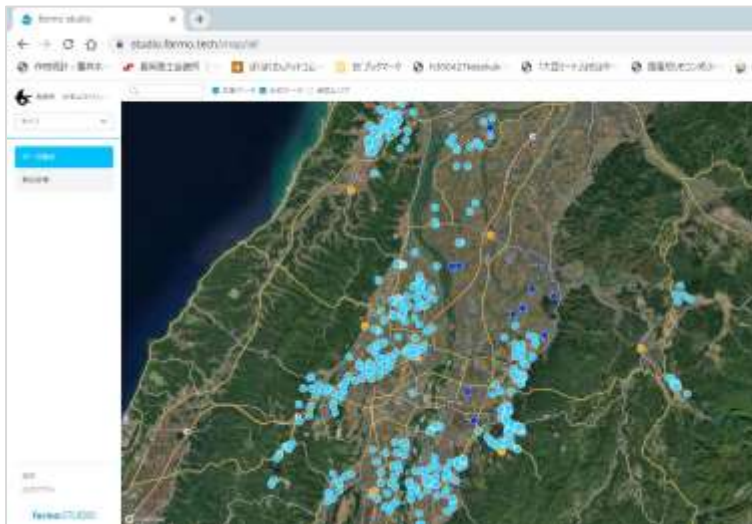





■ システム TOP 画面および各地に設置している IoT センサー



● **水田センサー 600 台**  
水位・水温データを 15 分毎に取得

● **水位センサー 50 台**  
水路やため池の水位データを 5 分毎に取得

● **気象センサー 11 台**  
気温、湿度、照度、降水量、気圧、風速、風向データを 10 分毎に取得

■ システムでできること① センサー情報のリアルタイムモニタリング

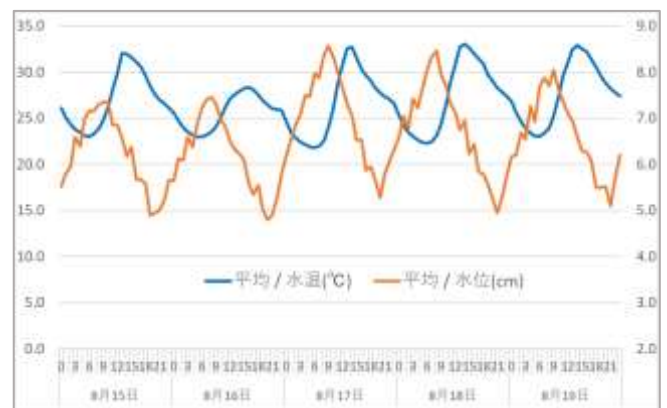
画面上の●をクリックすることで、センサーが置いてある箇所の状況（水位、水温、気象情報）を即時に確認することができます。（左側は水田の水位・水温画面、右側は各地域の気象情報画面）



■ システムでできること② クラウド上の蓄積データによる分析

各センサーのデータは、永続的にシステム上に蓄積され、いつでもデータ形式で出力することができ、長岡独自の詳細な分析が可能になります。

右のグラフは、今年、水位センサーを活用し、適切な水管理を行ったことで、等級低下を防止し米コンテストでも上位に入賞した生産者の水位、水温の管理データです。



■ 次期作に向けたデータの活用

今後、関係機関と連携し、各センサーのデータと実際の作況を組み合わせることで、「品質低下を発生させないための水温管理」、「各地域の気温差を踏まえた水管理や収穫適期の予測」などの栽培手法を確立し、農業者に伝えることで、気候変動に負けない産地を目指します。

■ センサー設置に協力した農業者等によるデータ活用

各センサーの設置及び管理に協力をいただいている農業者や土地改良区も、アプリ経由でデータを閲覧、ダウンロードすることが可能です。（見ることが出来るデータは、管理しているセンサーのデータに限る）  
これにより、水管理の省力化やデータを活用した営農改善が期待されます。